

# サウンドスケープのこころ 2

## 音と環境、音と教育

サウンドスケープとは、音環境の状態を単に心地よいものにするという事を超え、生活や環境そのものを見直すきっかけとして、音を認識することも含むものです。この理念にもとづいた様々な取り組みの実践活動は何を求め、何処へ向かうのか。それらを伝え、語り合い、考える集いが「サウンドスケープのこころ」です。今年も昨年に引き続き、2回目を開催します。

今回は東京・青山学院アスタジオにて実施され、好評裏のうちに閉じることができました。今回は「楽器のまち」静岡県浜松市にて行われます。きっとあたらしい出会いがあることでしょう。みなさんのご参加をお待ちしています！

日時：

2014年3月22日(土)

13:30～17:00(受付開始:13:00)

実施プログラム：

(1)実践活動の紹介と実演

(2)フォーラム「環境教育における音」

大野 嘉章 (元・湖風店主、元・環境保全課職員)

嶋 和彦 (浜松市楽器博物館 館長)

岩田 茉莉江 (音風景研究家)

土田 義郎 (金沢工業大学 環境・建築学部 教授)

兼古 勝史 <司会> (武蔵大学・立教大学 兼任講師)

(3)参加者交流会

参加費：会員無料 会員以外 500 円

会場：クリエート浜松 ギャラリー31 (裏面参照)

### フォーラム登壇者の横顔

**大野 嘉章** 氏は、東京都練馬区にて騒音行政に長年携わってこられました。小説「アンチ・ノイズ」[辻仁成著]の主人公のモデルです。

**嶋 和彦** 氏は、楽器博物館の開館以来、その運営を支え、地域の音楽文化に貢献してこられました。リコーダーなど楽器の演奏活動もしております。

**岩田 茉莉江** 氏は、「音さんぽ」というワークショップを各地で開催しています。南大東島でのフィールドワークは稀有のものです。

**土田 義郎** 氏は、建築環境工学という分野にあってサウンドスケープ研究に取り組んできました。庭園の音についても研究中です。

☆ みなさんの実践事例を、ポスターで紹介してみませんか？ 詳しくは裏面を参照してください。

☆ 前回ご出展された方も、同様の内容でのご発表をぜひご検討を！

☆ 所変われば人も変わります。浜松でもご紹介ください！



# ポスターセッションの展示を募集します！

サウンドスケープ、サウンド・エデュケーションに関わる実践事例を、下記の要領で募集いたします。奮ってご応募ください。

## 〈出展資格〉

当協会の個人会員または学生会員であること。グループの場合は少なくとも1名が会員であれば出展可能です。出展料は無料です

## 〈申し込み〉

以下の事項①～③を記載の上、メールにてサウンド・エデュケーションWG (sewg@soundscape-j.org) までお申し込みください。

①全員の氏名と会員資格 ②実践（プロジェクト）のタイトル  
③概要（200字程度）

申し込み締め切りは **2014年2月28日（金）** です。

※展示スペースは十分ありますが、応募多数の場合は先着順に締め切らせていただきます。



## 〈出展方法〉

- ・3/22の午前10時からご自身で展示していただきます。
- ・出展1点について、A0用紙（タテ119cm×横84cm）1枚分のスペースが割り当てられます。場所はあらかじめ指定いたします。その中で自由にレイアウトしてください。
- ・イレパネ、ハレパネは吊るすことも可能です。紙の場合は画鋏にて留めて下さい。会場内の壁はテープ使用禁止となっております。画鋏は会場にてご用意します。
- ・希望者には椅子を2脚まで提供いたします。機材を置くための台や長机をご希望の方は応談。
- ・ノートPC持ち込み可能です。音／映像の展示は応談。

## 会場案内



## クリエート浜松

〒430-0916 静岡県浜松市中区早馬町 2-1

TEL : 053-453-5311

<http://www.hcf.or.jp/facilities/create/>

◆ JR浜松駅より徒歩10分

◆ 遠州鉄道「遠州病院駅」東隣

※専用駐車場はありません。OGURIパーキングに1時間以上駐車した場合、1時間毎に100円のサービス券が発行されます。（最大400円分）